



時刻表、鉄道ダイヤ情報、鉄道ファン、JR路線全駅、鉄道地図帳、日刊スポーツをいつもリュックに入れて持ち歩いています



撮影◎スタジオハナリー

旅する自由人、萩原さんの宝物は「時刻表」。彼の頭の中にも路線図やささまざまな旅のプランがいっぱい描かれています。彼の旅は電車に乗ること自体を楽しむ旅、乗換駅で向いのホームの電車を見ることも楽しみのひとつ。だから、彼の路線選びはパソコンで出てくるような最短距離ではなく、独自のルートを作ります。この夏は「青春18きっぷ」を使って北海道へ。朝6時半に出発、翌日の夜9時札幌に到着、15日間の旅をしました。またスポーツ観戦にも熱心で野球チームは阪神、選手はラミレス、相撲は岩木山を応援しています。日刊スポーツ新聞も愛読。この秋からのもうひとつの楽しみは「西東京アクターズスクール」。さまざまな年齢、職業、アーティストや障がいのある人たちとともに舞台づくりをします。そこでは表情豊かな舞台人。日常では、車いすの人のケアをしたり、「正義感強く心やさしい青年です」と周りの人たちは語っていました。



相撲は見るのもやるのも好き。取材の私にも3番勝負を挑まれました。結果は萩原さん3勝。みかけによらず？力強いです。

### リレー エッセイ

## 「しごと」ってなんだろう

第3回 服部 美穂 (はっとり みほ)

NPO法人CES 八王子生活館 所長

企業に就職する以外にも、いろいろな『はたらき方』があります。さまざまな環境にある人の仕事観、はたらくことの意義(楽しさ、自己表現、社会貢献、お金)など、障害のある人たちが「はたらく」ことについて考えながら、すべての人にとっての「しごと」というものの根本を考てゆきたいと思います。

染織を専攻してずっと織物をしてきましたが、これまで、織物=仕事(お金を稼ぐという意味での)になっていたことが、残念ながら？なかった気がします。「好きな織物が仕事になるなんて甘い!」「それは仕事じゃない!」…と大企業に就職した友達から言われたものです。確かに織物では稼げず、いわゆる割のいい、織とは無縁の職種で、稼ぐためのバイトを続けていたのですから、私にとっての織物=仕事ではないのは、そのとおりでした。そんな私が、自分で織るのではないけれど、織に関わることで、定収入を得ることになったのは、生活館(そのころは生活文化学校でした)での仕事が初めてでした。そして今に至る20数年間、仕事=稼ぎというだけではない、しごとをさせてもらっています。

生活館は、知的にハンディを持つ人たちが通う、働く場です。織り手である10数人のメンバーは、次は何を織ろう?色はどれにしよう?とその都度楽しみに、でもしごととしての意識・やりがいをしっかり持ちながら、機に向かっていきます。メンバーにとっては、少なくとも織物=しごとなのです。残念ながら、そのしごと=稼ぎ=仕事にはなっていないのですが、なにかを作り出す時、作り手が楽しんでいないと、いいものは生まれなような気がします。メンバーは、それぞれがとても個性的で、色使いも

私の中からは生まれ得ないものばかりが、次々と生み出されていきます。自分自身が織るより数倍刺激的で、面白いなあ…と日々メンバーの織り成す布をながめています。(こんな面持ちで仕事をしていると、また誰かにおこられてしまうかもしれませんが…)生活館で長く仕事をしているうちに、いつのまにか、私自身で織ることがなくなっています。自分で織って表現するより、魅力的な布を生かしてなにかを作る…ことが楽しくなっているからだと思います。生活館のどのスタッフも、メンバーの織り成す布に魅力を感じて、それぞれの持ち味で、作品を作り出していくことを楽しんでます。そのことが、生活館のスタッフの仕事となっています。それぞれのスタッフから作り出されたものがまた、魅力的で、私には出せない味があり、「すごい!」と思わず感心させられます。

日々、内輪だけで、面白がったり、感心してばかりではいけませんね。私のここでのしごとは、メンバーみんなが、からだも気持ちも穏やかに過ごせる空間を維持していくことが、大前提です。また、メンバーが織物をするためのサポートも、大切なしごとです。その上で、メンバーのしごと=稼ぎにつながっていくように、その魅力をいろいろな人にも感じてもらえるように、外へ向けて、もっともっと発信していくことが、私の中の課題かなと思っています。そのために、積極的にギャラリー展を開催したり、外での発表の場を増やす方向で、日々取り組んでいるところです。

#### 今後のギャラリー展の予定

\*八王子 ギャラリーYASUTAKEにて 2009年11月26日(木)~12月1日(火)

\*下北沢 ギャラリー無寸草にて 2010年2月2日(火)~2月7日(日)

<お問い合わせ> 八王子生活館 八王子市八幡町5-11八中ビル2F

TEL&FAX 042-624-8417 e-mail info@npoces.net

## 創作の現場

ひのき工房 八王子市元八王子町2-1839-2  
TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168

安全を考慮していぬいに作られた商品は、お子さんへのプレゼントに喜ばれています。人気のカスターネットは絵柄もいろいろ。ミニチュアのティーセットはお部屋の装飾にもおすすめ。



かわいい看板がお出迎え。ここだけでなく、販売先はどんどん拡げていきたいと考えています。



みんなの力を合わせて製品を仕上げています

ひのき工房は今年の春、川沿いにあったアットホームな工房から、見晴らしのいい高台の新施設に移転しました。車いすで自由に動ける広々とした作業場になりました。利用者やスタッフの人数も増え、はりきって製品をつくっています。家具なども注文に応じてつくります。



10/24(土) かてかて祭り in 西放線  
11/14(土) 15(日) アートムーチョ  
11/21(土) 22(日) いちよう祭り

木工機械も整備され質のよい木工品の量産をめざします

自然の木のぬくもり

撮影◎スタジオハナリー

協賛広告

cafe'caz アルカディア 川瀬宛休  
0934 11:30-15:30 / 18:00-26:00  
八王子市千人町 8-28-9 tel. 042-665-1805  
http://710.jp/arcadia/arcadia/

こころを花にかえて  
MERCI FLOWER  
お花の事なら何でも出来ます  
散田店  
〒193-0832 八王子市散田町5-17-2  
TEL:042-665-5112 FAX:042-664-2237  
元八王子店  
〒193-0826 八王子市元八王子町3-2223-6  
TEL:042-629-2557 FAX:042-629-2558  
URL:http://www.merci.co.jp

#### 【かてかて】

八王子周辺の方言で、まぜごはんを「かてめし」とも言います。

そこから「まぜまぜ」の意味でつくった造語です。

さまざまな人がまざり、いい味のものができる。

そんなあじわいを大切にしたいと思います。

NPO法人八王子ワークセンターは、障害のある人たちの地域生活をワーク(働く)の視点から支援しています。

発行 NPO法人八王子ワークセンター 〒193-0835東京都八王子市千人町2-6-5プライムコート千人町1F  
かてかて事業部 TEL 042-669-0340 FAX 042-669-0341  
E-mail katekate@mbe.nifty.com  
発行日 2009年9月30日 ホームページ http://8workc.jp/

八王子のクラフト情報紙

かてかて  
Vol.4  
2009.10  
イラスト・石塚正廣



## 【銀杏】 いちょう

追分交差点から高尾駅までの甲州街道に、768本のイチョウ並木が続いています。これは、1927年に多摩御陵（武蔵陵墓地）の造営を機に植えられました。市制60周年を記念して、1976年に八王子の木に選ばれました。



いちょうマグネットパズル

1,050円  
いちょうの木をつかったかわいいパズル。裏にマグネットがついています。

木馬工房 元本郷町3-17-13 TEL 042 (624) 3340

## 【ムササビ】

高尾山に生息しています。ムササビは日本の固有種であり、本州、四国、九州に生息し、日本国外には生息していません。夜行性で、主に樹上で生活し、種子、果実などを食べ、地上で採食はしません。



むささびくん 400円  
「Hachioji」のロゴ入ストラップ

# 新 八王子 みやげ



はっちゃん 300円

はちバスキャラクターの携帯マスコット人形はっちゃん、ひとつひとつ顔がちがいます。

第二高尾青年の家 長房町719-69長房通所センター  
TEL 042 (667) 5575

ここにご紹介する商品は、八王子市内の福祉団体が製造しているものです。八王子のおみやげに迷ったら、ぜひ参考にしてください。

## 【桑】 くわ

八王子は「桑の都」と呼ばれ、古くから養蚕（ようさん）や織物が盛んでした。八王子は関東山地と武蔵野台地の境に位置し、山がちで耕作地が少なかったため、養蚕や機（はた）織りは、古くから農家の大切な仕事でした。

マルベリークッキー 400円

桑（マルベリー）の葉を粉にしてクッキー生地に入れました。呼吸器系に良い薬効があるといわれています。



ゆいまーる生活館 南新町17-5田村ビル1F  
TEL 042 (626) 2296

## 【はちバス】

はちバスは、八王子のコミュニティバス。小人も大人も全線100円均一。小さなボディで住宅街の細い道も走ります。



はちバスサブレ 1枚 100円

5枚箱入り 600円

八王子銘菓。卵と添加物を使っていません

工房みどりの風 緑町323  
TEL 042 (628) 3068



カサドの足跡 200円

メッセージを書きマゼントに添えて。もらった人はしおりとして使用できます。

製作：ピアわかくさ  
横山町20-19橋本ビル2F TEL 042 (631) 9404



## 商品取り扱いショップ

- 道の駅八王子滝山  
八王子市滝山町1-592-2  
TEL 042-691-8083
- 市役所売店はっち（本庁舎1F）  
八王子市元本郷町3-24-1  
TEL 042-626-3111(代)
- 八王子駅かてかてショップ  
(月1~2回木曜日にJR八王子駅改札横壁前に出店します)  
10月15日・11月12日・12月10日  
TEL 042-669-0340  
(NPO法人八王子ワークセンター)

\*ショップごとに、取り扱い商品が違いますので、販売先は各製造団体へお問い合わせください。

## 【第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子】 2009年11月27日(金)~12月6日(日) いちょうホール

ガスパール・カサド国際チェロ・コンクールとは、20世紀の偉大なチェリリスト、ガスパール・カサド氏の名を冠したコンクールです。1969年からイタリア・フィレンツェで開催され、数多くの世界的なチェリリストを輩出してきたコンクールです。第10回で中断されていましたが、紆余曲折ありながらも、5年の歳月をかけて2006年11月、16年の時を越え、市民の力によってこの八王子で見事に復活することができました。カサド・コンセプト・グッズは、世界中の人が集まるこのコンクールに向けて、海外にも誇れる八王子らしいものを目指し、コンクールの運営を主導しているNPO法人チェロ・コンサートコミュニティと八王子ワークセンター及びその会員団体との協働作業でつくりあげられたコンクール公式グッズです

## My Town



## CELLO TOWN



カサドの贈り物 150円  
竹紙の絵はがき。  
ゆいのアーティストMAKIさんが描いたチェロのイメージです。

カサドの竹紙 1,200円

八王子産の竹を原料に真正正銘のメイドイン八王子。味のある手すき和紙のレターセットです。「多摩の逸品コンテスト」に入賞しました。

製作：結の会  
元八王子町2-1211 TEL 042 (667) 0039



カサドのお散歩ケース 1,000円

チェロと音符をイメージして切り抜き、手織りの布を挟んでいます。suicaや各種カードが入ります。

製作：八王子生活館  
八幡町5-11八中ビル2F TEL 042 (624) 8417

カサド・コンセプト・グッズに関するお問い合わせ  
《NPO法人チェロ・コンサートコミュニティ》〒192-0063 八王子市元横山町一丁目29番3号  
TEL: 042-631-0705 FAX: 042-631-1205 Eメール: info@npo-ccc.com  
<http://www.cassado-cello.jp/goods/>

## 喫茶

# シヤトル

八王子市西寺方町366 ☎042-650-5515

●「中小田野」バス停より徒歩3分

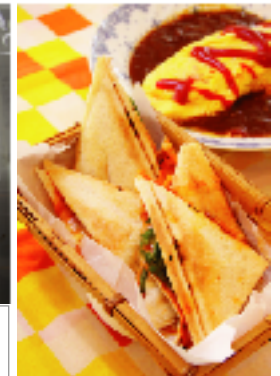
☎10:00~16:30 (休)土・日・祝

地域のみなさんの交流の場としてゆるやかに運営しています。

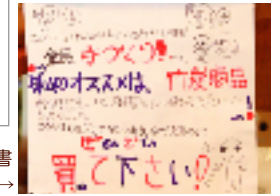
近所の方々に親しまれているくつろぎのスペースです。近隣の施設や病院の人たちもお散歩の帰り道、ここで美味しいコーヒーを飲んでゆったりしたひとときを過ごすことを楽しみにしています。コーヒー豆は、こだわりの自家焙煎、特注の「シャトルブレンド」濃いめで深い味わいです。ドリップで一杯ずついれています。おなかいっぱいになるごはんものメニューも各種あります。店内では、喫茶を運営している「グループG」のメンバーや、他の作業所で作ったアクセサリーなどおしゃれな雑貨やクッキーも販売しています。



◆メニューの一部をご紹介します  
キーマカレー500円、カツカレー650円  
野菜ドリア600円、海老ピラフ450円  
ハンバーグ定食570円、回鍋肉定食500円、餃子定食400円、チャーハン500円  
親子丼500円、カツ丼650円、ナポリタン400円、血うどん570円、鍋焼きうどん650円、焼きそば370円、ピザトースト350円、レアチーズケーキ300円、ホットケーキ300円、ホットコーヒー200円



ホットサンド450円 (写真手前)  
オムハヤシ550円



近所の小学生が書いてくれたPOP→



## かてかてナビ Vol.3

障がいのある人が働いているお店を紹介します

## オーガニックカフェ ゆいまーる生活館

今年10周年を迎え、メンバーの接客もすっかり板についてきました。天然酵母パンや焼き菓子、八王子生活館の手織り製品やフェアトレード商品、地場野菜を販売しています



スープは日替わりで2種類あります。できるだけオーガニック野菜と豆を使いご家庭でもパンをおいしく召し上がっていただけるように提案しています。スープとサラダ400円。パンは別に選びます。



パン工房や店内でメンバーが笑顔でしごとをしています

